

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立逗子小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上

1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

教科の基礎・基本を確実に身につけさせること(習得型学習)を優先課題とし、その基礎・基本を基にして自主的に学習に取り組む(自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断する)という探求型学習の獲得へと発展させる。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

①本校の教育環境のメリットを生かした学習指導方法の工夫を図る。②読書活動は保護者や地域のボランティアの活用や市立図書館との連携を積極的に進める。③支援教育は組織の確立を図るとともに各機関との協力のもとに進める。

行動プラン

①
基礎学力定着のための
個に応じた指導の充実

H19(2007)年度予定内容

○確かな学びを育てる
・各教科で「読む・書く・計算する」力を育成する
・聞く力、表現する力を育成する
・基本的な学習態度を育成する

評価 A (B) C

課題: 重点目標を共通理解して取り組むことができた。学年ごとに具体的な手立てや到達目標を明確にして取り組むべきだった。

H20(2008)年度予定内容

○確かな学びを身につける
・少人数指導やTTの指導法を改善する。
・繰り返し指導や補習等に取り組む。
・家庭学習の習慣を育てる。
・評価規準を明確するとともに指導の一体化を図る。

評価 S A (B) C

課題: 各学年で放課後や夏休みに補充指導を実施した。家庭学習の取り組みは手立ての共通理解が不十分だった。学習状況を丁寧に伝える必要がある。

H21(2009)年度予定内容

○確かな学びを身につける。
・少人数指導やTTの工夫・改善を進める。
・反復学習や補充指導に取り組む。
☆確実な習得を図るための家庭学習に取り組む。
☆保護者に学習状況を丁寧に伝える。

評価 S A B C

課題

行動プラン

②
読解力向上の取り組みの推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<p>○確かな学びを育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章や資料を読み取る力を育成する ・全教育活動で自分の考えを発表する力を育成する。 	<p>○確かな学びを身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読解力向上プランを参考に取り組む。 ・一人ひとりの学習状況を把握して改善する。 ・各学年で共通した手立てで取り組む。 ・本校の読解力の状況を把握する。 	<p>○確かな学びを身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆音読を通して言語の情報の正しい理解を図る。 ☆資料の意図や意味を理解する活動を充実する。 ☆要約・説明・報告などの論理的な文章作成技術の取得を図る。
評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
課題: 重点的に取り上げなかったが、教科学習や総合的な学習のなかで育成を図った。学年ごとに共通する手立てを明確にすべきだった。	課題: 国語を中心に文章や資料を読み取るなど活動し、効果があった。今後は言語活動を充実し、文章や資料を理解・熟考する能力を高める必要がある。	課題

行動プラン

③
読書活動の推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<p>○確かな学びを育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任やボランティアによる読み聞かせ・ブックトーク、朝の一斉読書など本と触れ合う機会を増やす ・学校図書館教育の充実 	<p>○確かな学びを身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で本に触れ合う取り組みや行事の推進、家庭との協力により、読書活動を進める。 ・ボランティアの活用を一層進める。 ・図書館教育計画に基づき取り組む。 	<p>○確かな学びを身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆全学年で一斉に読書にふれあう時間を設ける。 ☆読書推進計画の見直しを行う。 ・市立図書館を活用した読書活動を進める。 ・ボランティアの活用を一層進める。
評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
課題: 実施できた学級はあるが、学校全体の取り組みとならなかった。各学年で共通した取り組みが必要である。ボランティアの活用や図書館整備を進めることができた。	課題: ボランティア(保護者)の方の積極的な活動もあり、読書意欲が高まったが、学校としての図書館教育の計画や読書推進計画が有効に活用されるよう改善する必要がある。	課題

行動プラン

④
支援教育の充実

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<p>○支援体制を確立し、ケース会議を充実する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任一人が抱え込まないよう、支援部内及び学年の情報交換を密にする。 ・外部専門機関と連携し、ケース会議を実効性のあるものにする。 	<p>○支援の継続を図る支援シートの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援シートを活用し、一人ひとりの支援を体制を構築する。 ・定期的に支援教育研修を実施する。 ・ケース会議を実効性のあるものにする。 	<p>○保護者への周知と支援対応の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆支援シートに基づく学習支援の実施 ☆全教職員による支援体制の構築 ☆中学校と支援シートに基づく連携を進める。 ☆具体的なプログラムを示した保護者との面談
評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題: 協議の学習支援はなかったが、障害や配慮を要する児童について保護者との面談・学年や学校全体としての組織的な支援体制で取り組みができ、有効だった。	課題: 支援部に関わっている保護者には感謝されるが、まだまだ支援部の活動や内容が理解されていない。学習について直接支援する方法が課題である。	課題

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立逗子小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上



2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

基本的な生活習慣やルールを守る態度を身につけさせ、集団生活・社会生活に必要な態度と行動ができるようにする。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

①保護者と協力して、基本的な生活習慣・学習習慣を育む。②安全については専門機関や警備会社と連携し、体験学習や避難訓練等を重視する。③子どもの登下校を見守る活動を学校から地域に発信する。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基本的な生活習慣の育成	○学習にきちんと取り組む姿勢を育てる。 ・学習の決まりを意識して取り組むよう、継続的に指導する。 ・生活の決まりを守って行動できるよう、継続的に指導する。	○学習にきちんと取り組む姿勢を育てる。 ・系統的な目標や手立てを作成し、全職員一丸となって取り組む。 ・基本的な生活習慣に関わる啓発資料を作成し、保護者との連携を図った指導を実施する。	○学習にきちんと取り組む姿勢を育てる。 ・系統的な目標と手立てに基づき、全学年で取り組む。 ☆家庭の協力を得るために、各家庭に「学習の約束」を作成し、配布する。
	評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
	課題: 全教職員で共通理解して取り組んだが、効果が不十分だった。学年の組織的な取り組みや手立ての共通化など工夫すべきだった。	課題: 学習態度の育成については一定の成果が見られたが、系統的な目標等の共通理解が不十分であり、啓発資料も作成されなかった。家庭との協力が必要である。	課題

行動プラン

②
豊かな心を育む教育の充実

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<ul style="list-style-type: none"> ・行事で異学年交流の機会を増やす。 ・日常生活であいさつを実行する ・学級指導で重点的に取り上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢の関わり、あいさつなどの重点化 ・逗子小子どもまつりのねらいを明確にして、異学年交流を進める。 ・学校全体であいさつを広めるため、学年集会、学級指導、児童会などの場面を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢の関わり・あいさつなどの重点化。 ☆逗子小子どもまつりの内容の充実 ☆全校でのあいさつを広げるため、学級や児童会で取り上げ行動する。
評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
課題:異学年交流は1年と6年生の関わり、他学年での交流、逗子小子どもまつりなどを通して実現したが、あいさつの実行は学校全体の取り組みに至らなかった。	課題:異年齢の関わりは意識的に取り組み、児童の関わりが充実してきたが、あいさつなどについては、地域の方からも不十分であると指摘されている。	課題

行動プラン

③
豊かな体験活動の推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<ul style="list-style-type: none"> ・教科の特性を生かした豊かな体験になっているかを検証する。 ・事前、事後の学習を行い、学びを深めることができるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の特性を生かした豊かな体験活動となっているかを検証するとともに、深化を図る。 ・教科横断的な体験学習にも取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○系統性のある体験学習を研究する。 ☆事前学習→体験→事後学習を通して価値付けや意味づけを明確にする。 ☆活動の成果や結果について話し合いや発表を通して体験を共有しあう。
評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
課題:教科学習での体験活動は充実してきた。その体験をさらに発展・深化させる取り組みが不十分であった。事前学習での体験学習のねらいが不十分だった。	課題:各教科の特性を生かして体験に取り組んだが、系統性やねらいを明確にして効果的な体験学習とする必要がある。	課題

行動プラン

④
健康教育の推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<ul style="list-style-type: none"> ○不注意からくるけがや病気を防ぐ、健康教育や安全教育を充実する ・安全点検や事故対策マニュアル等の作成と実施 ・教科や特別活動において健康教育を進める ・不審者対策や事故防止の体験や訓練を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育や安全教育等の全体計画を作成する ・全体計画に従って、各学年で取り組む ・教科や特別活動において健康教育を進める。 ・健康教育の全体計画を作成し、本校としての取り組みを明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びや体育での安全指導を徹底する。 ・遊びのルールや決まりの作成や児童会での取り組みなど全校で事故を防ぐ機運を醸成する。
評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
課題:時期や季節をとらえて安全教育を進めることができた。保護者への啓発活動を充実する必要がある。学校内の事故防止に積極的に取り組む必要がある。	課題:休み時間の遊びでのけがが多く、校庭の狭さやオープンという開放感という要素はあるものの、工夫改善の必要がある。食育では実践検証をすることができ今後につながる。	課題

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立逗子小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

II 課題に迅速に対応する学校づくり



1 多様な教育課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

指導要領の改訂内容が明らかになり、それに向けた取り組みやこれまでの取り組みなど、新しい教育課程編成や先行実施に向けた取り組みの検討を中心に進める。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

①不審者対策や安全教室は専門家による体験教室を全学年で実施するとともに、地域の協力を求める。②本校としてのキャリア教育の目的や内容を研究するとともに、推進者や地域の人材の活用を図る。③新しく更新されたパソコンを活用して授業の充実を図るとともに、情報モラルの指導の教科を図る。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 子どもの安全と安心の確保の推進	○全学年で安全教室を実施する。 ・1年生と3年生は交通安全を中心として取り組む ・全校で不審者対応訓練を行う。 ・月初めに安全点検を実施する ・地域との連携を図る方策を検討する	○保護者や地域との連携を図る ・1年、3年生の安全体験学習を実施する。 ・全校で不審者対応訓練を実施する。 ・地域と連携し、登下校の安全に取り組む。	○学校支援地域本部事業に取り組む ・1・3年生の交通安全体験学習に取り組む。 ・全校での不審者対応訓練を実施する。 ☆学校支援地域本部を立ち上げ取り組む
	評価 (A) B C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
	課題: 1年生の交通安全、3年生の自転車教室など学校行事として実施。その他に不審者対応訓練や防犯教室等各学年で実施した。地域の連携は学区全域にわたって出来なかった。	課題: 交通安全教室や不審者対応訓練など実施することができた。ただ、校外での安全は地域の関わりが薄いため、今後の課題として重点的に取り上げる必要がある。	課題

行動プラン

②
いじめ・不登校等への
対応の推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
○差別やいじめを許さない学級づくりを行う ・安心して過ごせる学級経営を行う ・いじめの早期発見早期解決に努める ○児童への支援体制を確立する ・外部機関や相談員との連携を充実する	○差別やいじめを許さない学級づくりを推進す ・安心できる学級、解決できる学級にする。 ・いじめの早期発見早期解決に努める ○児童支援体制を充実する。 ・学年や支援部組織が機動的な対応を図る。	○差別やいじめを許さない学級づくりを進める。 ☆児童との信頼関係を強める学級経営に努める。 ・いじめの早期発見早期解決を組織的に行う。 ・保護者と連携した取り組みをすすめる。
評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題:いじめを含め児童指導上の問題は学年や支援部を中心として組織的に対応し、改善・解決することが出来た。被害児童や保護者への対応も丁寧に対応できた。	課題:いじめや問題行動等には担任と学年が支援教育部と連携し、早期解決を図った。児童との信頼関係に基づく学級経営を進める必要がある。	課題

行動プラン

③
幼稚園・保育園・小学
校・中学校の連携の
推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
○幼保との連携を充実する。 ・幼保の担当者との情報交換を密にする。 ・幼保の交歓行事を実施する。 ○中学校との情報交換を密にし、9年間のスパンで育む手立てを検討する。	○保育園や幼稚園、中学校との連携内容を検討する。 ・園との交流や情報交換のねらいを明確にした連携を図り、支援シート等を活用する。 ・中学校と連携内容や方法を具体的に協議する。	○保育園や幼稚園との連携を充実する。 ☆園と児童や職員の交流を進める。 ☆支援シートを活用した連携を進める。 ・担当者及び教頭を中心として中学校との具体的な連携を進める。
評価 A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題:幼保との連携が充実し、新1年児童への対応や保護者との話し合いがスムーズに出来た。中学校との連携は夏休みの補習を見学したが、今後の連携を具体的に進める必要がある。	課題:ようこそ集会での園との交流が、教職員との交流となった。今後はさらに中学校との連携をテーマを決めて連携する必要がある。	課題

行動プラン

④
国際理解教育の推進

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
○本校の考え方を明確にして取り組む ・英語活動の考え方をもとに全ての学年で実践する。 ・本校の英語活動のねらい及び時数・評価等を研究し、年間指導計画の検討を進める。 ・小学校における英語活動の研修会の実施	○指導要領の改訂内容を意識して取り組む。 ・小学校英語活動の研修・研究に取り組む。 ・授業研究を通して本校の英語活動を検討す ・IEAの活用のあり方を研究する。 ・本校の英語活動の年間計画を作成する。	○指導要領本格実施に向け、研究を充実する。 ☆英語活動中核教員を中心に実践研究を進める。 ☆英語活動の評価と指導の検討を進める。 ☆中学校英語教員や外部指導者も活用し、英語活動の年間計画を整備する。
評価 A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
課題:本校の考え方を職員で共通理解して取り組んだが、指導法や評価など不十分であった。	課題:英語活動の導入について、事前の準備や職員への周知など、組織的に行い移行期への対応ができた。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑤ キャリア教育の推進	○本校の考え方を検討し、明確にする。 ・小学校におけるキャリア教育の意義について共通理解を持つ(研修会の実施)。 ・キャリア教育の全体計画を検討・作成する。 ・実践校の資料、講演会など情報を収集する	○外部講師の指導のもと実践研究を進める ・キャリア教育の意義について研修会を実施する。 ・全体計画を検討作成する。 ・各学年の取り組み案を検討し、実施する。 ・担当分掌を明確にして取り組む。	○地域の教育力を活用した実践研究の実施 ☆資料等を積極的に配布しその意義を周知する。 ☆全体計画を作成し、関連する教科で試行する。
	評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
	課題: 取組みが不十分だった。校務分掌での位置づけがあいまいであったため、全校的な取組みに至らなかった。	課題: 担当分掌を明確にしたが、今年度は研修への参加程度しかできず、本校の考え方や取組みが不十分であった。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑥ 福祉教育の推進	○これまでの取り組みを整理し、本校の考え方を明確にする。 ・4学年の実践を整理し、成果等を協議する ・本校としての考え方について原案を作成する。	○本校の福祉教育の全体計画を作成する ・指導要領のねらいや位置づけを明確にした全体計画や年間指導計画を検討・作成し、実施する。	○全体計画・指導計画に基づき実践する ☆低学年では福祉に関わる読書を進める。 ☆3年生以上は総合的な学習において取り組む。 ☆地域との関わりを大切に福祉活動を実施する。
	評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題: 4年生の教育課程に位置づけ、教科や総合学習を中心に実施してきた。地域や関係機関との連携も図られている。	課題: 昨年と同様に4年が教育課程に位置づけて取り組んだ。学校としての目標やねらいを明確にして取り組む必要がある。	課題

行動プラン	H19(2007)年度実施内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑦ 環境教育の推進	○本校のこれまでの環境教育の成果及び課題を明らかにし、考え方や進め方を検討する。 ・全体計画を検討する ・今年度の取り組み状況を整理する	○全体計画及び目標を設定し取り組む ・各学年での取組みを明確にする。 ・児童会活動の中で取り組む ・家庭との連携を図り、子どもの活動を充実す ・市の認定獲得に向け取り組む。	○新たな目標を設定し、全校を挙げて取り組む ☆全学年で環境保護の大切さを取り上げた学習や活動を行う。 ☆児童会活動(環境委員会)でも取り組む。 ☆3年生以上は総合的な学習で取り組む。
	評価 A (B) C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題: 全校的な取組みとなっていないが、各教科や活動で取り組んでいる。全校的な計画やねらいが必要である。	課題: 今年度が環境委員会を立ち上げ、児童会組織として取り組むことができた。さらに活動を充実し、全校的な取組みが求められる。	課題

行動プラン

⑧
情報教育の推進

H19(2007)年度予定内容

H20(2008)年度予定内容

H21(2009)年度予定内容

<p>○新たに設置されたパソコンの活用と情報モラル育成の研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会を実施し、授業の活用を進める ・情報管理マニュアルを作成する ・情報モラルの指導内容の検討 	<p>○パソコンについて職員のスキル向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究に取り組む ・校務に活用する研究を進める ・情報モラルの研究授業の実施 ・情報管理を徹底する。 	<p>○パソコンについてのスキルの向上を図ると共に、情報モラルの育成に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆情報教育の指導法についての研修を実施する。 ☆系統性を踏まえた情報教育の活用を図る。 ☆情報モラルの指導計画を作成し取り組む。
<p>評価 A (B) C</p>	<p>評価 S A (B) C</p>	<p>評価 S A B C</p>
<p>課題:校内研修を数回実施し、機器の取扱や情報の管理の取扱規定を策定した。情報モラルの育成は不十分であった。</p>	<p>課題:各学年の活用指針を作成し取り組むことができた。情報モラルについてのねらいや指導方法などが不十分であった。</p>	<p>課題</p>

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立逗子小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり



2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

保護者や地域への情報発信を盛んにし、保護者や地域との連携を進める。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

①学校情報の発信について、いち早く保護者の反応つかみ、改善を進める方策をつくる。②保護者の要望を踏まえ、評価基準を明確にするとともに、学校評価項目の見直しを図る。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	○説明責任を明確にして、開かれた学校づくりを一層進める ・ホームページや学校だよりの情報が、適時性があり分かりやすい内容となるよう工夫する。 ・責任を持って取り組むため組織的に行う	・学校だよりは月2回発行したり、保護者のニーズを踏まえた内容の充実に取り組む。 ・校長との懇談会を生かし、学校の説明責任を果たす。 ・ホームページの内容を更新し、充実する。 ・保護者や地域からの声を生かした情報発信に努める。	○説明責任を明確にして、開かれた学校づくりを一層進める ☆学校経営方針を全家庭に配布する。 ☆学校だよりを必要な地域に配布する。 ☆担当者を位置づけホームページの改善に努める
	評価 (A) B C 課題: 学校だよりを月2回発行したり、校長との懇談会や評議員会で教育方針や学校評価の説明責任を果たしてきた。ホームページの改善や更新が不十分であった。	評価 S (A) B C 課題: 情報提供については保護者からも理解を得られたが、内容の分かりやすさや充実などさらに工夫すべき点がある。	評価 S A B C 課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 地域教育力の活用	<p>○保護者や地域のボランティアの活用について、本校のねらいや活用要項等を作成する。</p> <p>・これまで活用した教科や学習内容を整理し、今後の活用のねらいや留意事項等を要項にまとめる。</p>	<p>○地域の教育力の一層の活用を図る</p> <p>・要項を作成し、年間指導計画に位置づける。</p> <p>・保護者や地域の方がボランティアを取りまとめる組織(逗子小センター)づくりを推進する。</p>	<p>○学校支援地域本部事業を立ち上げ取り組む。</p> <p>☆6月を目安に第1回の開催を実現する。</p> <p>☆地域連携のビジョンを作成する。</p>
	評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
	課題:教科や各療育でのボランティアの活用が進められたが、要項作成までは至らなかった。	課題:要項作成などの取り組みがほとんどできなかった。地域講師などは学習活動では各学年積極的に取り組み成果が得られた。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 学校評価を生かした学校の改善	<p>○学校評価を見直し、結果を公表する</p> <p>・評価者を検討する(児童も含める)</p> <p>・評価結果の検討を丁寧に行い、改善に生かす</p> <p>・PTAや評議員等とも学校評価項目や結果について検討する</p>	<p>○学校評価を充実し、学校の改善に役立てる</p> <p>・保護者回答の回収率を高めるため、授業参観や懇談会を活用する。</p> <p>・評価項目や評価者の対象を検討する。</p> <p>・学校評価結果の生かし方を検討する。</p>	<p>○学校評価を改善に生かす取り組みを進める</p> <p>☆評価項目の見直しを図り、具体的な改善につなげる。</p> <p>☆評価委員会の役割や内容を充実する。</p>
	評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題:学校評価2年目となったが、保護者の回収率が低かった。今後は回収率を高める取組みが必要である。	課題:今年度は前期評価を実施したり、全教職員を対象に自己評価をしたりして改善を図った。評価項目などの改善や評価委員の活動をさらに充実する必要がある。	課題

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立逗子小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅲ 教員の指導力向上



1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

本校のめざす教師像「教師としての使命感と誇りを持ち高めあう教師」をもち、切磋琢磨する教師集団へと努力する。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

①授業研究は、外部の教育専門家の指導のもとにすすめる。②授業に対する児童や保護者の声を受け止め、教材研究や授業づくりを工夫する。③初任者研修や年次研修の授業公開を含めて、一人ひとりが進んで授業力向上に取り組む

行動プラン

①
授業研究の充実

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
	○「ともにつくる学習をめざして」をテーマにした校内研究を柱に授業づくりを研究する ・ブロック研究を中心に研究を深める ・一人一実践とその経過等を取りまとめる ・外部講師による授業評価に基づく研究	・ブロック研究を授業を中心に進める。 ・一人ひとりが授業実践をし、公開する。 ・外部講師による授業評価を参考にした研究を進める。 ・新指導要領を意識した授業実践を進める。	○一人ひとりの授業改善につながる実践及び研究となるよう、授業研究を充実する。 ☆新しい指導要領の趣旨や先行実施の内容を加えた授業実践を行う。 ・一人ひとりの公開授業を実施する。
	評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題:各学年ブロックでの授業力の高めあいが充実した。外部講師の藤本先生の指導により、授業研究内容が深化した。授業力が向上しつつある。	課題:指導案を作成した授業研究を実施して一定の成果が得られた。いっそう全体会の話し合いが活発になり、授業の改善につながる論議となるよう工夫が必要である。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 授業評価の活用	<p>○授業力を高めあう職員集団をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観の際は授業の概略を示して、参観者の評価や感想を頂く。 ・外部講師による授業評価 ・校内研究と一体化した授業評価を行う。 	<p>○子どもの変容に重点を置いた授業研究を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究時に特定の児童の学習状況を把握する。 ・一人ひとりの実践に基づいた授業研究を進める。 ・新指導要領の内容を意識した授業案を試行する。 	<p>○子どもの変容を観点に授業改善をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究時に児童の変容を把握する。 ・一人ひとりの実践に基づいた授業研究を進める。 ・新指導要領のねらいに基づいた授業研究を行う。
	評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題:校内研究の場で授業評価を含めた話し合いが出来た。特に、授業における子どもの変容をみとりながら、授業と子どもの学習状況の関連を研究した。	課題:指導案や「授業観察の視点」を参考に授業研究を行い、その結果について話し合うことができた。新指導要領の教科のねらいを踏まえた実践をすることができた。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	<p>○地域の素材・教材を活用した授業に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の素材を発掘し、教材研究を進める ・地域素材発掘のための研修会を行う ・他校の実践や研究と積極的に交流を図る ・長期休業中の研修の報告会を実施する。 	<p>○地域の素材・教材を活用した授業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領の内容を意識した教材開発に努める。 ・他校との実践交流や情報交換を積極的に行う。 ・長期休業中の研修の報告会・情報交換会を行う。 	<p>○地域の素材・教材を活用した授業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領の内容を踏まえた教材開発に努める。 ・他校との実践交流や情報交換を積極的に行う。 ・様々な研修の報告会・情報交換を行う。
	評価 A (B) C	評価 S A (B) C	評価 S A B C
	課題:全学年での取組みには至らなかった。学年の教科や領域の中で地域教材の活用にとどまった。逗教研や年次研修・初任者研修で交流を図った。	課題:新指導要領の内容に応じた教材の購入に組織的に取り組んだ。他校との情報交換や研修報告会など体制作りができなかった。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 研修事業の充実	<p>○初任研・経験者研修を全校体制で支援し、レベルアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業実践を公開する ・機会をとらえて経験者が積極的に指導する ・自己の研修目標を明確にして取り組む 	<p>○初任研や経験者研修の機会を生かして、切磋琢磨する全校体制を作り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業を公開し、意見交換をする。 ・自己の研修目標を明確にして、研修に臨む。 ・管理職が積極的に観察し、レベルアップを図る。 	<p>○初任研・経験者研修を全校体制で支援し、レベルアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業実践を公開する ・自己の研修目標を明確にして取り組む ・管理職が積極的に授業参観をし、レベルアップを図る。
	評価 (A) B C	評価 S (A) B C	評価 S A B C
	課題:研修の機会を利用して全校職員が授業を公開したり、見合ったりしながらレベルアップを図った。外部講師の的確な助言も得ることができ、全体的に充実した取組みとなった。	課題:学年やブロックが中心となって、本人の授業研究を進め、レベルアップを図ることができた。また、学級指導にも積極的に関わり、学級経営の基盤づくりに寄与した。	課題